

近畿中部



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成19年9月1日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：感じ業
宝物：手作りのまが玉札
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、さしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2020 春

近畿中部防衛局管内図
青色部分（東海支局管内）
2府7県の防衛に関する情報誌



総監検閲八尾離陸

(写真提供：陸上自衛隊八尾駐屯地)

目次

第37回防衛セミナー	2
FM収録	3
防衛周辺自治体（加東市）	4
部隊紹介～陸上自衛隊八尾駐屯地	5
米軍経ヶ岬通信所からの紹介	6
地方協力本部だより	7
「空自空上げ」（くうじからあげ）をご存じですか？	8



第37回防衛セミナー



富山の防災拠点 ～富山駐屯地の役割～

令和2年1月29日（水）、防衛省近畿中部防衛局では、富山駐屯地において今年度から大型回転翼機の離着陸が可能なヘリパッドを整備する工事が始まり、工事完成後には同駐屯地が更なる地域防災拠点としての役割を担うことを、広く知っていただく機会とするため、砺波市文化会館にて、第37回防衛セミナー「富山の防災拠点～富山駐屯地の役割～」を開催しました。

講演に先立ち、開催地である砺波市の夏野市長からご挨拶を賜った後、講演1として、陸上自衛隊第14普通科連隊長兼金沢駐屯地司令梨木1等陸佐から「富山で災害が起きたとき」、講演2として、富山県総合政策局防災・危機管理課福山主幹から「富山県の危機管理について」と題して、それぞれご講演いただきました。

その後、2人の講師に加え、第382施設中隊長兼富山駐屯地司令赤松2等陸佐、砺波市総務課高畑防災・危機管理班長、防災士連絡協議会の長谷川会長と満保防災士による、「日頃、不安に思っていること」と題したパネルディスカッションを行いました。

当日は、約160名の方が聴講され、「自衛隊の活動が非常によくわかった。具体性のある新鮮な話だった」「自衛隊を頼もしく思った」等のご感想をいただいた反面、「少しでも一般の方の質問時間を設けてほしい」等の貴重なご意見もいただきました。今回の防衛セミナーを通じて、富山駐屯地の役割及び防災に対する日頃の備えや対策について、再認識していただければ幸いです。

当局は今後も、皆様からいただいたご意見を参考に、工夫を凝らしたセミナーを企画してまいります。



第14普通科連隊長 梨木1等陸佐



富山県危機管理課 福山主幹



パネルディスカッション

FM収録

FM 88.9
ラジオ局
FMマザーシップ



近畿中部防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、和歌山県有田郡湯浅町にあるコミュニティFM局「FMマザーシップ」の協力により、防衛政策や自衛隊・米軍の活動等について分かりやすく伝えるラジオ番組「防衛問答近中でござる」を平成21年4月から放送しております。

これまで、防衛省・自衛隊の歴史に始まり、自衛隊の各種行動などを紹介してきており、近年では近畿中部防衛局の業務の紹介とともに、防衛白書のポイント解説や当局が開催した防衛セミナー、日米交流音楽会の様子などを紹介・発信してきました。

令和元年度は4月の事業監理課の業務紹介から始まり、「防衛省・自衛隊の隊員を知ろう」として若手自衛官等が登壇した防衛セミナー（大阪市）、日米交流音楽会（京丹後市）、高齢者大学での講演（京丹後市）、防衛白書の紹介と続き、2月の放送では和歌山県に所在する自衛隊施設として、放送局から直線距離にして約11km程離れた日高郡由良町に所在する海上自衛隊由良基地分遣隊を取り上げました。

分遣隊長から、由良基地が担う業務や災害対応等のほか、基地の前身が先の大戦で機雷封鎖された主要航路や港湾泊地の航路啓開に当たった保安庁警備隊大阪航路啓開隊由良基地であること、また航路啓開業務に従事して不幸にも殉職された方々の偉業を讃えた顕彰碑が香川県金刀比羅宮境内にあること等が紹介されました。

今後も防衛政策から自衛隊の活動など、様々な話題を当番組を通して幅広く紹介していく予定です。



「防衛問答 近中でござる」は毎週土曜日午後3時からFM88.9にて放送しています。
和歌山に行かれる際は、是非一度「FMマザーシップ」を聞いて下さいネ。

防衛施設周辺自治体の紹介（加東市）

兵庫県の播磨平野を貫流する加古川の中流部に、加東市を代表する名勝「闘竜灘」があります。闘竜灘は、奇岩が川底に起伏し、激流となる様子が、「二頭の竜が闘うようだ」と詩に詠まれたことから、その名が付いたと言われています。

加古川は、江戸時代に物資輸送の舟運が盛んで、しかも闘竜灘によって航行が阻まれるため、一帯は物資の積替え拠点として、大変栄えました。

この闘竜灘周辺は、5月1日、日本一早い鮎漁の解禁でも有名です。鮎の習性を利用した「算漁」と呼ばれる独特の漁法も受け継がれています。

また、5月3日には、花まつり鮎まつりが行われ、闘竜灘からの打上花火は、北播磨に初夏の訪れを告げる風物詩となっています。



奇、怪岩が成す闘竜灘の激流



鮎まつりの様子。闘竜灘の美しい景色と、花火が見る人の心を明るく照らします。

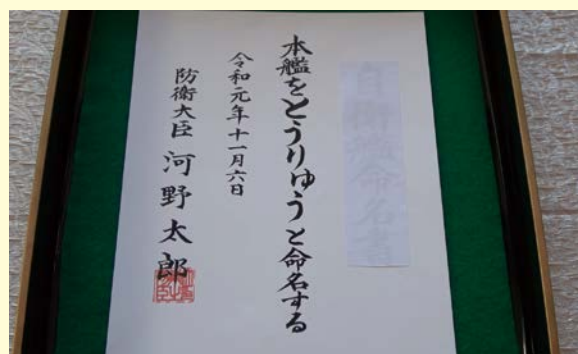
昨年11月に進水したそうりゅう型潜水艦の12番艦「とうりゅう」は、この闘竜灘から命名していただき、まちの自慢の名勝に、新たな歴史が加わったことを大変嬉しく思っています。最新鋭艦への命名を心から光栄に存じます。

また、加東市には、陸上自衛隊青野原駐屯地があり、防災訓練など「まちの守り」にご支援を賜っており、自衛隊の皆様へ感謝いたしております。

ぜひ、闘竜灘をはじめ魅力あふれる加東市にお越しく下さい。心から歓迎いたします。



「とうりゅう」の進水



自衛艦命名書

部隊紹介～陸上自衛隊八尾駐屯地

駐屯地の概要

八尾駐屯地は大阪府八尾市に所在し、小型航空機が運航する八尾空港に隣接した駐屯地です。

昭和16年に本土防空の中核防空基地として大正飛行場が設立され、主に第11飛行師団及び大阪陸軍航空廠が駐屯していました。

終戦時に米軍に接收されましたが、昭和29年日本政府へ返還後、浜松から第3管区航空隊が移駐し、八尾分屯地が発足、昭和49年に分屯地から駐屯地へ昇格しました。

旧陸軍飛行第246戦隊が使用していた戦闘指揮所は現存し、今は駐屯地の広報展示室となっています。



飛行第246戦隊指揮所



八尾駐屯地広報展示室

駐屯地に所在する航空科部隊

○中部方面航空隊

北陸、東海、近畿、中国及び四国の2府19県の広範囲にわたり防衛警備、各種災害派遣任務にあたる部隊です。

○第3飛行隊

近畿2府4県の防衛警備を担当する第3師団隷下の飛行部隊です。



人命救助（ホイスト）訓練



物資輸送（スリング）訓練

地域との交流

駐屯地は、駐屯地盆踊り花火大会（8月）と駐屯地創立記念行事（10月）の年2回、駐屯地を一般開放し、地域の皆様と交流を図っています。また、近隣地域の自治体等が企画するお祭りや防災関連行事に参加し、装備品や活動パネルを展示しています。



駐屯地盆踊り花火大会



駐屯地創立記念行事

👉米陸軍経ヶ岬通信所からの紹介！



○文化交流イベント活動

豆まき

経ヶ岬通信所の米陸軍第14ミサイル防衛中隊所属の兵士が2月5日（水）、京丹後市丹後町袖志地区で開催された文化交流で「豆まき」を経験しました。

参加者は工作や色塗り、英会話を楽しみました。その後、子供たちは豆まきをして鬼に扮した兵隊に豆を投げました。子供たちのお陰で遂に鬼は退治されました。“鬼役”で参加したドレイファス・メヒュー中尉は「とてもユニークな伝統であり楽しかったです。」と、そして「子供たちも大いに楽しんでくれたのではないかと思います。投げられた豆は少し痛かったですけど、子供達からたくさんの元気ももらいました。今年一年皆様が無病息災で過ごされることを祈っております。」と述べました。



○日本文化との出会い

経ヶ岬からこんにちは。私は米陸軍第14ミサイル防衛中隊所属のアイバン・ソリア3等軍曹です。

京丹後市丹後町袖志にある経ヶ岬通信所に配属されてから約10ヵ月になります。この間、数多くのボランティア活動や日本のパートナーとの交流、地域で開催されたイベントに参加してきました。特に印象に残っているのは陸上自衛隊第7普通科連隊（福知山）で体験した太鼓・銃剣道交流です。銃剣道では、隊員の方が厳粛な空気の中、型と試合を実演してくれました。太鼓では、隊員の方が丁寧に教えてくれました。私たちは初めて一緒に演奏し、共通の目的のために結び付きました。夏に行われた穴文殊大祭では浴衣を着て盆踊りに参加し、秋には稲刈りに挑戦しました。また、昨年末には航空自衛隊経ヶ岬分屯基地で伝統的なお餅つきを体験しました。全てが興味深く新鮮な経験です。私たちは地域に積極的にかかわっていくため、また可能な限り多くのことを経験し日本の文化を学ぼうと励んでおります。

地域の皆様との友情、パートナーシップと調和は、ここにおける私達の経験の喜びと幸福の源であり続けることでしょう。



【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。 <https://www.facebook.com/14MDB/>】

地方協力本部だより



自衛隊地方協力本部は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援をいただける皆様への窓口です。

富山地方協力本部 076-441-3271 https://www.mod.go.jp/pco/toyama/	 <p>●イベントや試験の案内等を発信しています。 各種SNS (Twitter、Facebook) も随時更新中です。 富山地本で検索して下さいね。</p>
石川地方協力本部 076-291-6214 https://www.mod.go.jp/pco/ishikawa/	 <p>ぼく、としぼう！ツイッターにて県内イベントや応募企画を発信しているよ！ぜひフォローしてね</p> <p>自衛隊 石川 ツイッター</p> 
福井地方協力本部 0776-23-1910 https://www.mod.go.jp/pco/fukui/	<p>●自衛隊福井地方協力本部</p> <p>Twitter #じえる で検索してね</p> 
滋賀地方協力本部 077-524-6446 https://www.mod.go.jp/pco/shiga/	<p>登録 求む。</p>  
京都地方協力本部 075-803-0820 https://www.mod.go.jp/pco/kyoto/	<p>イベント情報・京都地本の活動を京都地本HP及び公式SNS (Twitter・インスタ・Facebook) で配信中！！ フォローお待ちしております！</p> <p>自衛隊 京都 検索</p> 
大阪地方協力本部 06-6942-0541 https://www.mod.go.jp/pco/osaka/	<p>自衛隊幹部候補生と一般曹候補生 出願受付中やで～！</p> <p>自衛隊幹部候補生：令和2年5月1日（金）まで 一般曹候補生：令和2年5月15日（金）まで</p> <p>今年も大学生向けインターンシップやるで 詳しくは大阪地本HP・twitterをチェック</p> <p>自衛隊 大阪</p> 
兵庫地方協力本部 078-261-9777 https://www.mod.go.jp/pco/hyogo/	<p>兵庫地本の活躍や自衛隊のいろいろな情報満載！ フォローしてくださ～い！</p> <p>自衛隊 兵庫 検索</p> <p>Twitter Facebook Instagram</p>  
奈良地方協力本部 0742-23-7001 https://www.mod.go.jp/pco/nara/	<p>●イベントや試験の案内等を発信しています。 Twitter (@NaraPco) とインスタ (nara_pco) を毎日発信！ 奈良地本の活動を見てほしいシカ</p> 
和歌山地方協力本部 073-488-5116 https://www.mod.go.jp/pco/wakayama/	<p>●各種イベント情報、説明会案内等随時各種SNSを更新しています。 「和歌山地本HP・ツイッター・フェイスブック」 逐次更新していますので、皆さん和歌山地本で【検索・検索】4月25日・26日で田辺商工フェア開催に併せて、艦艇広報も計画しています。 今後とも和歌山地本よりよろしくお願いいたします。</p> <p>みかんの助 うめの助 かきの助 和歌山地本3兄弟</p> 

自衛官募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて 行っています。	受付時にお知 らせします。	試験日にお知 らせします。

※ 詳しい情報は、上記の各地方協力本部にご確認ください。

○「空自空上げ」(くうじからあげ)をご存じですか？

当局管内に所在しています航空自衛隊経ヶ岬分屯基地が航空自衛隊調理競技会において「金賞」及び「航空幕僚長特別賞」を受賞されました。

航空自衛隊第35警戒隊(京都府・経ヶ岬)は2月4日(火)及び5日(水)に航空自衛隊入間基地において実施された航空自衛隊調理競技会において、最高位である金賞と航空幕僚長特別賞を受賞しました。

この競技会は鶏の唐揚げを、「空自空上げ(からあげ)」と呼称し、航空自衛隊としてより上を目指そうという意味を込めて、航空自衛隊の食文化を内外に普及するための各種施策を示した「空自空上げ普及5か年計画」に基づき行われたものです。

全国の「各部隊を代表」して計10名の隊員がそれぞれの基地が所在する地域の特色を活かした空自空上げを、2時間という制限時間の中で調理し、審査に臨みます。第35警戒隊は、給養係長である千原2等空曹が選手として参加し、基地が所在する京都府の食文化を参考に、出汁で素材本来の旨味を引き出し、特産品の七味でアクセントを加えたオリジナルレシピ「七味鶏」で挑み、金賞及び航空幕僚長特別賞を受賞しました。

今後は、空自空上げ「七味鶏」の更なる普及のため、基地見学者への提供や、部外への情報発信など積極的にPRし、自衛隊に対する理解の促進を図っていきます。

(「七味鶏」のレシピは航空自衛隊HPスペシャルコンテンツ「空自空上げ」で掲載されています。)



空自空上げ受賞作品「七味鶏」



調理競技会の様子



丸茂航空幕僚長から表彰を受ける
千原2等空曹



金賞及び航空幕僚長特別賞を受賞

(写真提供：航空自衛隊経ヶ岬分屯基地)

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)
〒540-0008
大阪府中央区大手前4丁目1-67
近畿中部防衛局
広報編集委員会(報道官気付)

(電話・FAX)
TEL 06-6945-4953
FAX 06-6910-5669
(メールアドレス)
goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌近畿中部は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2020年 通算64月号
令和2年3月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。